



地域とともに 教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

Tel 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

「大樹学」の取組を紹介 ～小中高連携～

①本校2年生と大樹小学校1年生 歴舟川川辺で生き物探し

9月8日(火)、本校2年生「生物基礎」で、大樹小学校1年生の生活科「いきものをさがそう」の授業に参加し、歴舟川そばの水路で連携授業を行いました。この取り組みは、地域の自然の良さを再確認し、異学年交流を通して地域社会の一員としての自覚を高めることを目的としています。

当日は高校生が小学生の班に入り、iPadのGoogleレンズ等を活用して生き物の特定を補助するなど、活動のサポートを行いました。参加した生徒からは、「生き物の名前を聞いてくれたり頼ってくれて嬉しかった」や、「年齢差があってもすごくいい経験になり、楽しい時間を過ごせた」といった感想が寄せられました。最初は関わりに不安を感じていた生徒も、子どもたちのパワフルさや豊かな発想に触れる中で、伝わる言葉選びを意識するなど大きな学びを得る機会となりました。



②本校宇宙航空サークルと大樹中学校1年生 モデルロケット発射体験

9月17日(木)、大樹中学校の1年生を対象に、モデルロケットの製作と発射体験の授業が行われました。本授業は、町が進める宇宙関連事業への興味を深めること、そしてロケットの原理を学びながら、独自のアイデアや工夫を形にすることを目的に実施されたものです。

当日は中学生が9つの班に分かれ、試行錯誤しながらロケットを製作。その学びをバックアップしたのが、宇宙航空サークルに所属する4名の生徒です。高校生たちは中学生に寄り添い、製作のアドバイスや安全な発射のサポートを丁寧に行いました。自分たちの手で作ったロケットが大空高く飛び立つと、会場からは大きな歓声が上がりました。地域とともに世代を超えて宇宙への夢と挑戦の心を育む、大樹町ならではの一日となりました。

